

果樹カメムシ類情報第1号

令和2年4月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

果樹カメムシ類の飛来数は6月末までやや多い予想！！

1 令和2年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ(図1)の越冬成虫密度調査を県内15地点で行った結果、平均越冬成虫密度は0.3頭/㎡(過去10年の平均値1.2頭/㎡)、越冬成虫の確認地点割合は60.0%(過去10年の平均値48.7%)で、越冬成虫密度、確認地点割合ともに過去10年と比較し7番目で平年並の状況でした(表)。

2 令和2年の飛来数予測

過去10年の調査結果から、越冬成虫密度と、果樹カメムシ類の飛来数の目安となる予察灯における5～6月までの誘殺数は関連しており、越冬成虫密度が高い年は誘殺数も多く、越冬成虫密度が低い年は誘殺数も少なくなる傾向があります(図2)。

今冬のチャバネアオカメムシの越冬成虫密度は平年並でしたが、昨年秋期(9月)の豊橋市の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は過去10年で1番多く、ツヤアオカメムシも2番目に多い値となっています。また、今回の越冬量調査では例年ほとんどいないツヤアオカメムシを複数地点で確認しました。これらのことから、果樹カメムシ類の果樹園への飛来数は6月末までやや多いと予測します。

ほ場での発生状況や5月から始まる果樹カメムシ類の予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数などを参考にして、防除を実施しましょう。

表 令和2年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度(頭/㎡)

調査年	調査地点															全地点 の平均	越冬確認 地点割合
	幸田町		新城市				豊橋市					豊川市					
	須美 北山北	須美 北山東	大海	市川	中宇利	稲木	嵩山	石卷 中山	石卷 萩平	石卷 平野	小野田	平尾	千両	足山田	金沢		
令和2年	0.3	1.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7	0.3	0.3	60.0%
平年	0.6	0.3	4.1	1.3	4.1	0.8	0.5	0.0	0.5	2.0	0.8	0.2	0.5	0.9	1.2	1.2	48.7%

平年：平成22年から平成31年までの過去10年の平均値。



図1 チャバネアオカメムシ成虫

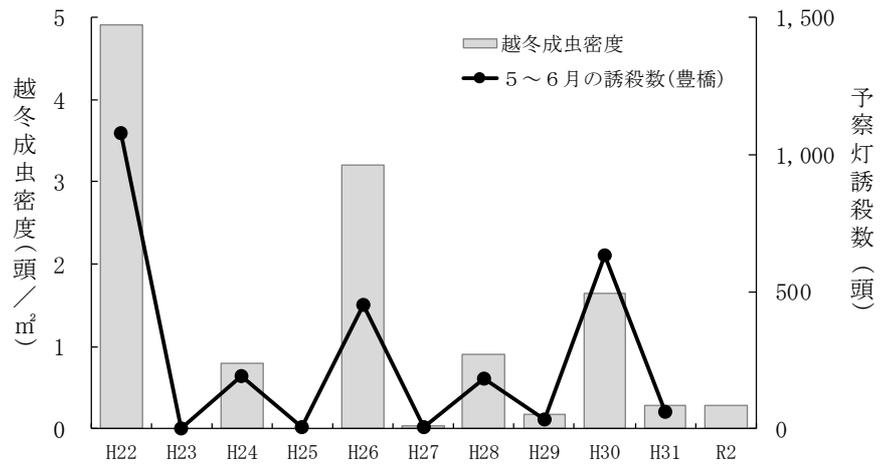


図2 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯における越冬成虫誘殺数 (豊橋市)